

<緊急企画> 子ども家庭福祉に関わる「ソーシャルワーク」について考える ～児童虐待の最前線から～

1.趣 旨

日本ソーシャルワーカー連盟は「虐待のない社会」をめざして、子どもの虐待防止に取り組む現場のソーシャルワーカーによる話題提供を基に、参加者によるトークセッションを中心とした緊急企画を開催します。

相次ぐ子どもの虐待死という痛ましい事件を前にして、人として自分らしく生きることの権利に深くかかわる私たちソーシャルワーカーは、何を考えどのように行動すべきでしょうか。

子どもの虐待を生み出す社会という文脈で捉えれば、虐待という事象は単に家庭の中で起きている個別的な問題として片付けられないことは明らかです。ハイリスク妊婦の特定から育児期の切れ目のない支援が構想されていますが、実際には切れ目が生じている現実にすべてのソーシャルワーカーは向き合い、「虐待」への感度を上げていく必要があるでしょう。

国は子ども家庭福祉のソーシャルワーカーの資格の在り方、資質向上の在り方の検討をスタートさせました。新たな国家資格の創設が問題解決にならないことは明らかです。それでは既にさまざまな実践現場にいるソーシャルワーカーができることは何でしょうか。本企画で深めていきたいと考えております。

子ども家庭福祉に直接かかわりのないソーシャルワーカーにも参加してほしい企画としました。多くの方々の参加を期待します。

2.日 時 : 2019年10月6日(日) 13:00～16:00 (受付12:30より開始)

3.会 場 : 一般社団法人日本ソーシャルワーク教育学校連盟 6階会議室
(東京都港区港南 4-7-8 都漁連水産会館 6階)アクセス: JR品川駅港南口(東口)から徒歩20分、都バス利用、東京モノレール『天王洲アイランド』詳しくは、申込URLフォームをご覧ください。

4.定 員 : 100名*先着順とし、定員になり次第申込を締め切ります。

5.主 催 : 日本ソーシャルワーカー連盟(JFSW)
(日本ソーシャルワーカー協会、日本社会福祉士会、日本精神保健福祉士協会、日本医療社会福祉協会)

6.後 援 : ソーシャルケアサービス研究協議会

7.対 象 : 社会福祉士、精神保健福祉士、児童福祉司、その他本件に関心のある方

8.参加方法 : ①申込期日: 8月29日(木)より参加申し込み受付開始
②申込方法: 下記のURLフォームより必要事項を入力してお申し込みください。
<https://www.jaswhs.or.jp/form/kj3n3qy2shbyq8g4.php>
*入力後に受付完了の返信メールが届きます。

9.参加費 : 資料代1,000円 当日会場にてお支払いください

10.プログラム : 講師、時間割は予定のため変更になる場合がございますのでご了承ください。

時 間	内 容	講 師
13:00～13:05	【開会挨拶】	日本ソーシャルワーカー連盟会長 日本精神保健福祉士協会 会長 柏木 一恵 氏
13:05～13:20	児童虐待防止への取組へのこれまでの経過について	ソーシャルケアサービス研究協議会 代表 白澤 政和 氏
13:20～14:20	【講演】 「サインズオブセイフティについて」	立正大学 社会福祉学部 社会福祉学科准教授 鈴木 浩之 氏
14:20～14:30	休 憩	
14:30～15:55	【トークセッション】 「児童虐待の最前線から」 コーディネーター 日本医療社会福祉協会 (北里大学病院トータルサポートセンター) 早坂 由美子 氏	日本ソーシャルワーカー協会 (川和児童ホーム) 小山 菜生子 氏 日本精神保健福祉士協会 (杏林大学医学部付属病院) 加藤 雅江 氏 日本社会福祉士会 (岩手県福祉総合相談センター-児童福祉司) 米澤 克徳 氏
15:55～16:00	【閉会挨拶】	日本社会福祉士会 会長 西島 善久 氏

お問合せ 日本ソーシャルワーカー連盟セミナー事務局(日本医療社会福祉協会 「子ども家庭福祉」担当)
TEL 03-5366-1057 FAX 03-5366-1058 E-mail: jaswhc@d3.dion.ne.jp